SUNDAY, AUGUST 11, 1929. NO. 10699

The Japanese American News

昭和四年八月十一日【日曜日】 第一万六百九十九號

日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONES: PROSPECT 0238-0239
ENTERED AS 2d CL. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENT

日本趣味移入の新運動

（一）

過日のユニオン紙通信は角田柳作氏が年の苦心により日米文化協會なるもの誕生を導へ既にその役員を擧げ規約を定め愈〻その発足に至つたといふ吉報を快哉といふべく吾等は喜び堪へないのであつてこれは吾等の久しく待ざりしものの實現を見るに至つた譯である。そは思も寄らぬ程の大飛躍であるが角田氏の中心となり畢生の努力をこれに惜まざる誠意に於て從來のそれとは大いに趣を異にせるやにゆゑ。

（二）

近代文明の大潮流の傾向は科學と機械により代表せられてゐる。言はゞ實用と便利の文明である。日本もおよそ商ながらこの實利主義の文明の潮に巻出して益〻六十年今や泰西文明の夢を摩するに至つたことは吾等の誇であり喜びである。然しながら又同時に悲しむべき傾向として失ふべからざるものである。吾等が茶の湯や生花に見るあの趣味の如き奥ゆかしく餘裕ある俗塵を脱し俗臭を洗ふに足る貴きものを持つてゐるのである。更に日本人が深く養はれ來つた武士道の精神の如き今日の實用主義現金主義の文化とは全然相反する思想であつて誠だし融通のきかないものであるけれども、その一徹なる信ずる處向つて身命を擲して奮進し躊躇せざる精神は喪ふてはならない吾等の財産である。撃ゆればこの日本趣味といふ日本主義の穢撃求めあつた治外法權撤廢にて而も超越的なる趣味の如きは沟に非實用なるものなれども何うしても日本特有の貴きものとして

日曜講壇

創造か進化か

抑も宇宙は何うして出來たかといふ問に對して古來凡そ二つの考へがある。一つは宇宙が創造されたものだといふことであり、今一つは進化したものだといふ考である。宇宙創造の思想は凡ての原始民族が著しく考へたのであつて古きバビロン、エジプトの文書は宇宙創造の話をつたへてゐる。日本の古事記、神代記の物語りもまたそれであるしかして日本の神話が支那から移されたものであることは學者の一致するところである。ギリシヤ、ローマの歴史かた神話に始まれることも明白な事實である。吾等が今日天地創造物語として最もよく知れるのはバイブルのそれである。此れはヘブライ民族の間に生れた創造物語である。

されば天地創造の思想は決してヘブライ民族の古有物でない凡ての民族が皆同樣の考へを有つたのであつて、言はばこれは原始人が宇宙の謎を說かんとする一つの方法であつた。これが原始人の形而上學考へギリシヤの哲學を學ぶもの、古きものであつてダ

第二の進化の思想も亦人類のかんがへるのは眼りである。哲學史に讀むもの、容易に首肯し得る所である。

△

併しながら何う言つても進化論はダーウインによつて事實を根據とせる一大セオリーとなつたのである。彼は二つの重なる原理を立てたのである。一は種の生存をめぐる生物はこの二つの大原理によつて進化するものであることを敎へたが時移るとともに段々この說、疑ひを生じ而して生れたのは

スペンサーのごとき哲學者は進化論の思想を力說しあることは哲學史に讀むもの、容易に首肯し得る所である。

△

宇宙は創造と進化と二つの力の合成である。宇宙の根底には創造し得る力が存在してゐる。故に進化がある。創造は意志の活動を實現するものとみなす吾等の意志が眼を創造したのである。同樣に宇宙の大意志が宇宙を創造した言ひ得るではないか、故に吾の人の考へたるごとく創造の思想進化のそれも別々の思想ではない、二つのもの所詮は

化は創造の力に伴れてゐる子供會 ポスト街一五八五 午前十時半
日曜 一ずじ心 敎 說年後二時
野戰 伊藤敎師
青少年軍指揮 下村青年曹長
野戰會 午後一時
遠藤大尉
『上にあるものを求めよ』
敎鑑會 同八時
野戰 同七時
遠藤大尉
『天國は近づきたり』
日曜學校 午前十時
敎鑑會 歸敎文 本山 山折
說佛敎 佐々木師先生の御話午前十時
四十分 各分級各受持先生の
むし及カード說明午前十一時
十分閉校
日曜說敎午後八時勤行 讃佛
歌 歸敎文 說敎『正信げ進
續講演』正信げ作法練習 山
折師

▲天理敎會 ポスト街一五八五
午前十時半
日曜 一ずじ心 敎 說年後二時
日曜學校午前九時半
青少年軍指揮 下村青年曹長
野戰會 午後一時
遠藤大尉
▲敎育軍 日曜學校午前九時半
午後二時 伊藤敎師

空のレビアザン 獨逸に歸着す

五十五時間を以て 一三日中に東京へ

（フリードリヒスハーフェン十日）空のレビアザンといはれるツエ伯號は、僅かに五十五時間廿六分を以て昨十日午前七時二分（米國の午後一時二分）フリードリヒ、ハーフェンを出發した。昨年同航路をとつたときの十月のレコードは、六十八時間十六分であつた。ツ伯號がフランクフルトに現はれた時は雨天にもかゝはらず地上の群衆盛に歡呼し船中の二名（船員四十名、乘客二十二名）はハンカチを振つてこれに應じた。船長の話によれば同地に二日か三日滯留の上、元氣溢れて

四十名

基青會少年部 野營から歸る

去月廿七日からビスカデロを距る七哩の森林、ユマカヤの勝地に野營生活をつゞけてゐたサタン街基青會少年部の一行四十名は二週間の山林生活に寛いだのち規則的な訓練を終へ沼尻幹事、木庭少年部長外數名の指導者に引つられて去る八日一行滿載やかに歸着した

練習艦隊歡迎で 注意すべき諸點

前車の覆へるは後者の戒め

沙港同胞から警告

帝國練習艦隊の歡迎準備に今や桑港の領事館や桑人會は忙殺されてゐる。所で沙港の同胞からその歡迎に關する注意すべき諸點を實驗について書いておくつて來た。前車の覆へるは後者の戒めとも思ひ左にかゝげ見やう

シャトルの軍艦歡迎はいたれりつくせりであつたが、しかし演藝部員が時間の都合上食事する暇がなく、閉演後、さ食事しようとすると、お辨當が腐つてゐた。幸にキヤナリボスの西村氏が、それを知つて、早速自動車を三四臺かりあつめ、下町のめしやへつれて行つて、自腹をきつて御馳走してくれた。桑港ではそこいらの點を注意してほしい。土官は天幕の下で机しかけでお辨當はよいが、水兵の野原は氣の毒だ。これも出來ることならテントの下に腰かけて食べさせてあげたいお土產はせまい軍艦だから注意しなければならぬ。『論はがき』『たばこ』『安全かみそり』等特に『たばこ』もつとも可。

歡迎人數の特別御馳走、さつきもこまつてゐる。軍艦が來て儲けるのは二三の

ピスカデロに於ける 青年會キャンプ

（四）

基督敎青年會主事 富澤 清

さて空腹を感じてゐるときに出て來るものは野菜である。勢ひ不行儀にならうとする人よりも早く食物をとらうとしたり。まづテーブルがセットしない內に食べはじめやうとしたり、それは見てゐて面白い程人間本能の無遠慮さが曝露される。それを一々テーブルマスターが、たゞ默つて眼で制止する。始め一二日かういふやうにしつけると、三日目からは皆が實に行儀よくなり、チヤンとそろつかゝ神に感謝して靜かに御飯をたべる。その御はんの間に

ウインをもつて進化論の元祖考へるのは眼りである。古きギリシヤの哲學を學ぶもの、は其處にヘーラクライトス萬物流轉の思想を見、アナクサゴラスやアナクシマンデルスなど太古の賢人がいかに宇宙が無窮なる眞素から生成されたものであるかを說いてゐることを見出すであらう。

卽ちギリシヤ哲學は實に進化論の元祖であつた。下つてアリストトルの有したる進化觀既に代人と同樣の考へをもつてゐたことを發見するのである。

近代哲學にいたつてはデカート、ライプニツツ、ヘーゲル

大商店で、あとは撮。

御大典の時は『北米』今度は『大北』が、月きめ廣告を勝手に取り去り、特別廣告に入れ替へた。これは悪い習慣だ

兇賊デウデー 汽車內で

四千弗强奪

（シカゴ十日）九日夜イリノイ中央鐵道の一列車がルーズヴエルト線をとつて中央驛を離れると間もなく三人組の賊あつて敏捷に容易に捕はれず彼れ自らおれがつかまる時は死んだ人を射殺し、十七人の乘客に

殺すぞと脅かし命じて置いて乘合せ殺すぞと脅かし命じて置いて乘合せ

ブロムレー中尉は 十月一日頃大飛行

途中で一度ギヤスリンを また積んで太平洋橫斷か

機の製作に着手

（沙港發）ブロムレー中尉はレー中尉に命令した。ついては機の製作のために目下羅府にあるが、タコマの太平洋橫斷飛行後の間にタコマから東京へむけて援會に六日羅府から入電あり、飛行することになる希望である。

「シチー、オブ、タコマ」號の製作費は約一萬八千弗の見積で製作日子は八週間乃至九週間を要するとの報ぜられたので早速商業會議所において後援會の人々集會協議の末大急ぎで機の製作にとりかかれと

長距離電話

加州平野の大火 今尚は熄まず

ホーキンスビル火焰に

加州イレカ附近の野火は九日夜更にクラマス森林內に燃ひろがり

▲加來出動 アングロ銀行ファイルモア支店日本人部主任の埼玉縣人小林叩吉氏に會ひ桑港サター街一七二八

▲ゆめ廣告料金 一行一日二十仙 四日間より一行一日金十仙 三日間より一行一日五仙の調 ご用命は電話で『電話 Prospect0238』

日米要求

人事欄

見習入用經驗の有無を不問 マークリ洗濯所

求職 店員を使て永く經驗あり 自動車縫も出來る青年 商店に働きたく照會機府日米支社

洗濯 用サンマテオ市デツボ 夢洗所電話サンマテオ一二〇〇番

洗場 ヘレツプ及び見習入用 フルトン街二二〇〇

洗方 旅アイオン師一名至急入 洗濯所電話サンマテオ一二〇〇番

アイ 習一名入用高給支拂ふ スター洗濯並に洗染所

ナン師一名並に洗染樂見 ター街一七二八

ミルク 榎本取次店 桑港サター街一八二五B 電話 ウエスト三一三八

早朝晩も配達致します サーティフイドミルク マロンミルク會社

洗濯所 病氣に付至急求職度し 1579 McAllister St., nr. Fillmore Standard Floor Covering Co.

洋食店 桑港市南近く白人相手 歸國に付至急譲渡し 婦人に適當照會グリー街一五六二 ヤヒボル洗濯所ウエスト八一三九四

貸家 近くフラット開會は左記へ 2429 California St., S. F.

貸家 六室フラット、ハードウッド、ヤード及びグラージ 電話夢讃四五五七七W（

老舗 なるクロサリー顧客多く リース植水し至極格安で 賣り度し希望者は左記へ御照會あれ 櫻府日米支社

貸家 六室內廚室三室貸四 電話夢讃四五五七七W（

敷物 東洋式其他各種敷物一切 サイズ色々卸值以下全部 新物夜間九時迄開店日本人歓迎す Standard Floor Covering Co.

印鑑 ミトメ實印金種製及び 寄告カード關係速切完全二 ゲリー街一六二七番

寫眞館 實及び設備家族及專業 百五十弗桑港月曜日

貸間 クツサン附日當良大勝者 街一六二七番

婦人 ドレス格安に仕立ます 六室フラット、ハードウッド及びグラージ 電話ウエスト大四二五

貸家 六室フラット、ハードウッド及びグラージ 附又除き Tel. Bayview 1254 425 Spence St.

飲食店 桑港日本人町中心家 人種國につき至急譲りたし 三上代理事務所へ ヤード 2025 O'Farrell

カテ 日當良六室ハードフロ ゲリー街一八七三

寄人

朝隈道夫（鹿兒島縣）大門九左衛門 山口縣）二神保義（熊本縣）東田藤 吉（和歌山縣）安部徳治郎（廣島縣） 赤星鉄治（熊本縣）牧野榮三郎（愛 知縣）飯塚正隆（廣島）魚井伊佐雄 （神戸市）山崎花之助（愛媛縣）清水 福喜（熊本縣）梅本新三郎（愛知縣）

心當りの方は當新まで御通知下さい 在桑港 日本總領事館

電話ウエスト大四二五 グリー街一六一〇 菊川亭

カマボコ 製造卸小賣 特に御贈答品は柳洋女次第調製致します ▼鮮魚食料品一切 金門商會 桑港グリー街一五二九 電話ウエスト四三七九

代理人 敎師名・委任狀登録・登用 他安價な品日本人間に賣る代理人 收入多く婦人にても可 照會下記 Eastern Agencies 1606 Bush St.

英語 敎授希望に依り出張致す コール街四〇二オーク街角

病氣 光線不足・療養無料・ 一時半・五時マーケット街九四八 番三〇〇號ドーガーニュ・マン

敎授 英語、日本語、ピアノ、 公立小學校の諸科目 1765 Sutter St. Tel. West 2252 佐野佳三、岡道子、（州立高師卒業）

名醫紹介 亜通譯 アツシ 電ウエスト二一〇七六 山崎靜子

至急 熱練アイロン手及洗染 見替生各一名入用委細は 王府マーケット洗濯所電話レーキ サトロ二九〇〇へ照會

求職 洋食店の クツク或はヘルプとして働きたし多年の 經驗あり遠近を問はず左記 Tel. Capital 3047 W. Sacramento

物件

貸間 クツサン 八七八 ケンサン街一

貸間 日當よし一室自炊の設備 ありサター街一七七一

貸間 家具付五室フラット家 賃十六弗五十仙日本人 町中心地ポスト街一七二四牛

賣物 日本市中心地にある唯一 の豆腐店並に魚店 電話ウエスト大四二五

賣家 家具付五室フラット家 賃十六弗五十仙日本人 急格安にて賣たし御希望の方は左記へ御申込みを乞ふ 231 South K St. Tulare, Calif.

魚店賣 たゞ加ツラ市に 魚店至急格安にて賣渡したし御希望の方は左記へ御申込みを乞ふ 238 South K St. Tulare, Calif.

旅館讓る 須市目抜の場所 十八レント二百五十弗ありと 希望者は日米須市支社（照會あれ

讓度 洋染所麻國に付委細面 急讓度 誘致のため 電話ウエスト

讓家 家具付五室フラット家 賃十六弗五十仙日本人 急格安にて賣たし御希望の方は左記へ御申込みを乞ふ 町中心地ポスト街一七二四牛

物件

瓦斯代があまり高いと 電話（オーナフ 壹壹四八 うすぎみ

桑港公醫師會 ラグナ街 一五〇四 加大醫學士 原田正專 ウオーナフ二二六六

加大醫學士 北河慶次郎 須大醫學士 ポスト街一七九四 電話フイルモア五二八八

加大醫學士 喜安都定 ポスト街 一六巻一 電話フイルモア二七二九

◇加州歯科醫師會◇

井戸本保之助 グリー街 一五二六 電話フイルモア〇七九二

林兄弟歯科醫院 ポスト街一七七六 電話フイルモア四二〇九

山本辰雄 サター街一二六八 電話フイルモア一二六八

藤田省三 オフアレル街一三九六 電話ウエスト八三五〇

藤田歯科醫院 ポスト街一六六二 電話ウエスト六六五〇

檜垣益一 ポスト街一六六二 電話ウエスト二四八四

（いろは順）

寄人

山口勝）二神保義（熊本縣）東田藤 吉（和歌山縣）安部徳治郎（廣島縣） 赤星鉄治（熊本縣）牧野榮三郎（愛 知縣）飯塚正隆（廣島）魚井伊佐雄 （神戸市）山崎花之助（愛媛縣）清水 福喜（熊本縣）梅本新三郎（愛知縣）

心當りの方は當新まで御通知下さい 在桑港 日本總領事館

電話ウエスト大四二五 グリー街一六一〇 菊川亭

カマボコ 製造卸小賣 特に御贈答品は柳洋女次第調製致します ▼鮮魚食料品一切 金門商會 桑港グリー街一五二九 電話ウエスト四三七九

代理人 敎師名・委任狀登録・登用 他安價な品日本人間に賣る代理人 收入多く婦人にても可 照會下記 Eastern Agencies 1606 Bush St. San Francisco, Calif.

英語 敎授希望に依り出張致す コール街四〇二オーク街角

病氣 光線不足・療養無料・ 一時半・五時マーケット街九四八 番三〇〇號ドーガーニュ・マン

敎授 英語、日本語、ピアノ、 公立小學校の諸科目 1765 Sutter St. Tel. West 2252 佐野佳三、岡道子、（州立高師卒業）

名醫紹介 亜通譯 アツシ 電ウエスト二一〇七六 山崎靜子

至急 熱練アイロン手及洗染 見替生各一名入用委細は 王府マーケット洗濯所電話レーキ サトロ二九〇〇へ照會

求職 洋食店の クツク或はヘルプとして働きたし多年の 經驗あり遠近を問はず左記 Tel. Capital 3047 W. Sacramento

物件

貸間 クツサン 八七八 ケンサン街一

貸間 日當よし一室自炊の設備 ありサター街一七七一

貸間 家具付五室フラット家 賃十六弗五十仙日本人 急格安にて賣たし御希望の方は左記へ御申込みを乞ふ

練習艦隊畫報

此寫眞は海軍兵學校卒業式へ御親覽の御名代宮伏見海軍大將宮殿下
【上】兵學校棧橋御上陸
【下右】大講堂を御出ましの殿下
【下左】御出發の殿下

コーストリーグの全星軍今秋日本遠征する

桑港チームのハフマン氏が監督

某日本人の手で目下日本と交渉中

日本の球界を熱狂せしめん

お馴染のコーストリーグのオールスター、チームが、今秋を期して日本遠征するといふ近來稀な壯擧が計畫され目下有力日本人の手で日本と交渉中である。日本としては、嘗かるプロフェショナルの强チームの訪問することは、未曾有のことであつて、殊に各チームの粒選りを集めたものであるから、定めし今秋の日本の球界を熱狂せしめることであらう。

日本に四度も行つたハフマン氏監督

各チームから二名選抜

十月廿三日春洋丸で

コーストリーグ全星軍渡日は過日來、某有力日本人の手でミション、チームのハフマン氏と協議されてゐたもので、各チームから二名づゝ花形を選拔するのであつて、既にその顧觸も決定されてゐる。日本と交渉が纏まれば今秋コーストリーグ戰のをつて間もなく、十月廿三日出帆の春洋丸に當地から乘込み、の有力日本人の東道の下に日本に渡るはずである

一行の顔觸れ

一行の監督には前ミッションチームのハフマン氏と、桑港チームの投手ウオルタ、メイ氏が當るハフマン氏は既に四度も日本に渡つたことがあるので今度の話しも同氏が直にチームをまとめたのだ、それから二行中には

桑港チーム　の投手パーナン、ゴーメズ氏が加はる若い花形で今ではリーグの第一人者さはやされてゐる人である。それからミッション、チームの第二塁手ミキフィン氏、羅府チームのアウトフィルダのウオーター、パーカー氏、王府チームの新進第二塁ヨニ、パーゼス氏等の面々が加はつてゐる。因みに目下コースト、リーグの參加チームは左の八組である

桑港　ミッション、王府　サクラメント　羅府　ハリウッド　ポートランド　シヤトル

氏等の面々が加はつてゐる。因みに目下コースト、リーグの參加チームは左の八組である

桑港　ミッション、王府　サクラメント　羅府　ハリウッド　ポートランド　シヤトル

野村司令官に銀盃を贈る

和歌山縣人會で

和歌山縣人會では去る日曜日評議員會を開き練習艦隊歡迎について協議したが、兵士には記念號をおくること、野村司令官には純銀製の大カップを贈ることに出身の乘組員を招待して一夜昭和樓において家族的な歡迎晩餐會を催すこと又會報を送ることを申合せた

井田さこん

今度は從四位に

本月十五日陞進

今夏高等官一等に叙せられた桑港總領事井田守三氏は練習艦隊を迎へんとしてゐる際昨日更に第喜郎氏を通じて遂せられた本月十五日をもつて貴官從四位に叙位相成たり

外務大臣　幣原喜重郎

最優秀作品は一般投票に

米國內學園出品中の最高點には大杯を

學藝展のこゝろゝみ

桑港總領事井田守三殿

陞位の電文を手にした井田總領事は流石に「嬉しい」と微笑んだ。

「有難い」後はニコ〜である。

記者はさらに「高等官一等となる途にほゝが來て」と語るとそこは流石に鋭四位に陞位され縁しりさらに鋭四位に陞位されつた『位が陞つたさうでお芽出度いことですね』と記者は喜びもしひ來て只もうニコ〜である。

桑港總領事井田守三殿

陞位の電文を手にした井田總領事は流石に「嬉しい」後はニコ〜である。

記者はさらに「高等官一等となる途にほゝが來て」と語るとそこは流石に鋭四位に陞位され縁しりさらに鋭四位に陞位されつた『位が陞つたさうでお芽出度いことですね』と記者は喜びもしひ來て只もうニコ〜である。

純情掬すべき我が少年少女の在米學園生徒の最優秀作品に贈作品しめて一萬有餘點の巨數與することとなり、その優秀作品を一堂にあつめた桑日會主催學藝展覽會はいよ〜昨十日から開場され、待ち構へた多數の桑港觀客陣が續々集まり來る盛況を呈せるであるが、今十一日の日曜午後二時からは盛大な開會式が昨紙プログラムによつて擧行される一方桑日會では

米國同胞　生徒學術奬勵會

の後援で學藝展會場に投票し、進んで投票のやう主催者の希望する處である。因に右の人銀杯は在桑事員安井惠喜太氏の提供にかゝるものである

數年ぶりで我等の芝居を

―桑港演藝會主催で

練習艦の去つた後―

純益は社會事業に寄附

富市の演劇同好者達は集まつてとけたが、まづ桑港警師會が立練習艦の去つた九月一日二つて、乘組中の軍警候補生西十日の曜と勞働祭を利して桑名を、二十日午前から二班に分港演藝會主催の下に歡迎ぶりの素人芝居を催すことゝなり目下三藤氏の監督の下に開演準備と上演稽古をしてゐるが今度の芝居には演藝會員以外にみさゝり亭とうすみ亭より各二名の女優が助演すること、なり近來ない面白い芝居を見せる筈だといふが、この助演する女優の內には日本で鳴聲を勵めたこともある玄人もあるとふ上演藝題は安達ケ原、菅谷道心太閤記等の古いもので大切にはまり艶物を入れることになつてゐるといふ、なほ右演藝會において純益金は學園もしくは教育等の社會事業に寄附するはずだ

友松師米人講演

本日第一組合で

ポストリーダーミッション街角米人第一社會教育內ウイルバース社會研究室において「日本における貧民救濟事業」なる題下で一場の講演をすることなつたが講演のほかに寫眞をもつて說明するはずである

醫師會から軍醫案內

乘組四十名を二班に分けて

艦歡迎の醫務委員會は昨夜桑日會で開かれ、諸般の協議を

氣持のよい日本映畫

五明氏持參の日本風景畫

既報のごとく、五明忠一郎氏持參の富士ケ嶺が映畫の日本風景の試映會と撮影は昨日午後八時より同氏の宿泊せる市內の各有志各方面の知己友人百數十名にして非常な盛會であつて、まづ櫻咲く日本で、東京の三宅坂、靖國神社、上野公園の

東照宮や、郊外の阿蘇

帝室の御料板場たる千葉縣六里濱、東京より箱根沿道の櫻花箱根小浦谷より、千古の雪を戴身の櫻咲く日本に遊ぶの感

日本の名

櫻

しのだ。それより瀨戸內海の嚴島神社、日光、最近日本十景に選ばれた雲仙十和田湖を見て、最後に東京の風景に寫眞機を向けるせしのだ。それより別室に陳列せる現代名士の揮毫、その主な如き顧かに休息するを例とし、尾崎、武富、高田、箕浦、安達、小泉、道重、海老名、井上、小ことを好まず極彩色人々を招いて心行くまゝに、同組織の色紙にて心ばかりの誕生祝をすることし、サンドパーク夫妻、秘書等に目と心を樂しましめて

心行くまゝに

夫人、サリバン、ユートーン等ルバート氏、王府チームのウオーターパーカー氏、王府チームの新進第二塁ヨニ、パーゼス氏等の面々が加はつてゐる。因みに目下コースト、リーグの參加チームは左の八組である

桑港　ミッション、王府　サクラメント　羅府　ハリウッド　ポートランド　シヤトル

大統領別莊地で

靜かな誕生宴

昨九日はフウバー大統領の誕生日であつたが、氏は週末をパーデュアル州プラユー、リッヂ山の別莊に、靜かに休息するを例とし、ルバート氏、王府チームのウオーターパーカー氏、王府チームの新進第二塁ヨニ、パーゼス氏等の面々が加はつてゐる。因みに目下コースト、リーグの參加チームは左の八組である

桑港　ミッション、王府　サクラメント　羅府　ハリウッド　ポートランド　シヤトル

櫻原孝治

木村選手は東行す

今後紐育で大いに活動

木村拳闘選手はそのファイチン、スプリットの旺盛な點で常市でも相當白人のファンがあるので前途を囑望されてゐる闘士であるが今回ニューヨークの岩井氏が木村の名聲を聞き一つ面倒を見てやらうと二百弗送金し至急ニューヨークへ來いと手紙

桑日會

學藝展案內を各方面へ

學藝品展はいよ〜今十日の土曜をもつて一般に公開されることとなつたが、桑日會では、左のごとき案內狀を各方面に配布發送した。

招待狀

拜啓、今回各方面より多大の御後援により本會主催の全米同胞生徒學藝品展覽會もやうやく盛大に開會しうるのは、

今學期より新に開始する邦語學園

桑港だけで聖公會と

ホームド教會の二校

八月十九日一般公立學校開始されひ必然の成行きとして誠に結構なことで邦語學園全盛萬々歲と

木村選手は再敗す

餘りあせり過ぎた嫌ひ

沙港でも水兵に赤化宣傳せんとして捕まつたと、ソンなことらるで水兵も赤化されやすまい。

▲

フェラベリ伯爵悠々米國を訪問して歸途についた、何事にも世界一を誇る米國もこれには頭があがらぬらしい。

▲

一夜ドロームランドにおける拳闘試合で木村選手はノーマンと六ラウンド戰を交はしたが、二ラウンド目に木村がノックダウンされ、八を數わたので、その後猛勇をふるつて攻撃したけれども、大勢をもち直すことが出來ず、審判官はノーマンの勝ちを宣告した。木村は餘りに飛びまわり、ポンチに一身をこめ餘勢がないので、もうかし落附て戰ふ惡があらうと。なほ同夜のメーン、エベントではグラとマラとが對戰したが、始終前者優勢で、審判官は彼の勝ちを宣告した。

晩餐會

申込早く

十八日の大野遊會を終わ、同夜金門ホールで催さるる艦隊歡迎會には、出席者は多數の見込みなの中に、出席希望の向は早速申込み顧びたしこのことゝなは當夜の飛入出席は準備なきためお斷りとなる模樣である。（會費三弗）

美術雜貨組合

一ポイント

美術雜貨卸商組合は一昨日午後萬丸亭において開催されたが金子副領事出席し米國關稅問題に關する一場の說明あり懇談を重ね試みた

日本向爲替弱氣を帶ぶ

一ポイント

トン〜相手に騰こてゐた日本向き爲替相場は昨日に至り一ポイント下落した。明月曜日より正金及び住友支店において左記の通り實施する

▲電信爲替及び郵便送金（日本）百圓に對し米貨四十七弗十二仙半

▲一覽拂手形日本金百圓につき米貨四十七弗

賞品

十一種類

續き集まる

十八日の大野遊會競技賞品は夢集委員の奔走と一般婦人の氣前とでドン〜集まつてゐるが、昨日一日のみにても左の如く寄贈申し込みがつた

▲蓄音機一臺　宵木大成堂

宣眞機一個　端穆商會▲十弗

印刷券一枚　日本印刷會社▲小形裁縫ミシン一個　太田ミシン店▲アルミニューム飯櫃二個よろづや商店▲ソーダ水箱博多屋▲オレンヂ一箱　實商

▲電信爲替及び郵便送金（日本）百圓に對し米貨四十七弗十二仙半

▲一覽拂手形日本金百圓につき米貨四十七弗

美術雜貨組合

一ポイント

トン〜相手に騰こてゐた日本向き爲替相場は昨日に至り一ポイント下落した。明月曜日より正金及び住友支店において左記の通り實施する

▲電信爲替及び郵便送金（日本）百圓に對し米貨四十七弗十二仙半

▲一覽拂手形日本金百圓につき米貨四十七弗

神港野球軍けふ櫻府へ

渡米最初の會戰を

同地日本スター軍と

去る七日來桑以來市內見學中であつた神港野球團は渡米最初の試合として今十一日の日曜サクラメント日本スター軍と會戰することゝなり、十一時早朝一行同地にむけ出發する。櫻府では同日午後二時からヨロー、グラウンドにおいて催開

同夜一泊

翌十二日附近

喜びの

就て は八月十一日（日曜日）午後二時より金門ホールにおいて右開會式を擧行いたし各學園よりの出演、諸種の備物さいたし、同時に會場の階上金門等園全部を桑港及ホールに分類陳列しある全米各方面の學園、ハワイ、諸島、日本全國、朝鮮、臺灣等よりの寫眞試合で木村選手はノーマンと六ラウンド目に木村がノックダウンされ、八を數わたので、その後猛勇をふるつて攻撃したけ

至誠の金廿五弗

大和コロニーから桑日會へ

中加リビングストンの同胞代表的團體なる大和コロニー會は今回來航の練習艦隊歡迎費中へ同地方同胞の寄附になる金廿五弗を桑港日本人會へ送附し來たつた

是々非々

兒童學藝展覽會開かる。一萬餘點集まると、桑日會近來稀れの大事業

▲

井田高等官一等が艦隊を迎へて一大夜會を開くと、結構なこと、ルフカ〜頼みます。

映畫二つ

金門ホールで昨夜から開演

樋口旭瑛若樹愈の長尺映畫二つを今十一日夜も上映される。

映畫は既報のごとく松竹キネマ組特作新派悲劇『人の世の運』と文久年間の攘夷騒動『ある兄弟』の二つで、前者は名優井上正夫主演、後者は森野五郎活躍「興味ある長尺ものである

謹告

小生儀インデアナポリス市に於て開催されたる米國盲人事業大庭用電氣治療會に出席し、更にミシガン州バトルクリーキ市サナタリアムに於て物理治療法を修業し、去る八月一日歸桑仕り、從前通り按摩治療就業致すべく候間何卒御引立願上候、先は右歸桑御挨拶旁如斯御座候　敬具

バトルクリーキ、サナタリアム物理療法科修業

田守吉弘

日本行小包

船客手荷物

取扱　富士運送會社

1629 Buchanan St., S. F., Calif.

電話ウエスト〇八一八

日本ホテル

館主　田中米吉

米國

米

各地商店にあり

正　藤本商會

桑港ジャクソン街二三八

電話ウエスト〇八一八

松永美容院

—（日曜日午前中開業）—

—近代式—電氣應用—

桑港フィルマー街一八五八

電話ウエスト一九四三　住宅ウオナッ七〇七八

肛門藥、痔瘻丸

いぼ、ちまき、ぢろう、だつこう、ぢ出血、ぢの痛切らず、かもずに事業をしつゝ呑んで癒る家傳

七日分　二弗

十五日分　四弗

岡山市楢星町南詰

肛門藥商會

釣道具

婦人一名（機械部仕事）

地方からの郵注文は特に注意深く吟味して迅速に送り致ます

日米新聞社

丹下商會

桑港ポスト街一六〇四ラグナ近

電話ウエスト二五一五五

常盤園

ポスト街一七六七

（御食事）

電話フィルモア二八二三

金門貸自動車

緒野

電話フィルモア二五五七

飲食店

桑港日本町中心

家賃格安ラグナ街

あり主人韓國に付き至急讓りたい委細の讓渡し條件等は左記へ

御照會あれ

桑港市オフレル街一四〇八

三上代理事務所

電話フィルモア八二八六

野一色獨特の秘傳を現し一般療治に應升

今回新式家庭用電氣治療會に出席し、更にミシガン州バトルクリーキ市サナタリアムに於て物理治療法を修業し、去る八月一日歸桑仕り、從前通り按摩治療就業致すべく候間何卒御引立願上候、先は右歸桑御挨拶旁如斯御座候　敬具

特放射熱電氣療治機賣販價特別大割引値段式

家庭

桑港野一色電氣治療院

新式家庭用電氣治療機一手販賣

東京野一色　清田石作

本部出身

1716 Sutter St. San Francisco, Cal.

—（加州館通り）—

治療なし得る優機です

（ニセモノ御注意）

桑港ウェブスター街一六五九

（サター街角）

電話　ウエスト　七二三四

第一第二治療案內書に依つて何方にも確實に是さへあれば、ごんなれも不安なく安全です。使用法や治療法は

暑中御見舞

柳川產

土用うなぎ

スプリング

チキン水煮

萬丸亭

一同

古買

桑港オスサン街

電話オードウエー八三七九

櫻原孝治

君が枝

食堂

電話ウエスト〇七〇七

齒科醫開業

秘機今回左記の場所に於て齒科醫開業致候間此段謹告仕候

一九廿九年八月一日　敬白

加州公認齒科醫

移轉廣告

弊館儀此度左記の場所に移轉致從前通り人物及びパノラマ寫眞を獨得優秀の技術を以て美術的撮影仕り候間何卒舊に倍し引立の程願ひ上候

桑港フィルマー街一七二〇

（從前の所より北へ三軒目）

原田寫眞館

電話フィルマー二三〇〇

（從前通り）

高尾鶴松

名醫紹介、フランクリン（舊蹟）病院通譯

桑港グレー街一五二二

電話ウエスト四一七四

鍼灸あんま術

田守吉弘

福岡官立學校卒業

物理療法科修業

相馬茶店

Tel. Tucker 7990, W. Andike 9495

1623 Webster St.

Los Angeles, Cal.

城戸法律事務所

Attorney At Law

Saburo Kido

電話ウナッ〇七四四

壁紙ペンタ

竹多

電話（ウエスト）一七二四

（同）六五九〇

桑港　ポスト街一五三一

ドクターエ・エッチ・マックナルテー

執務時間日曜を除く外毎日午午後八時

事務所桑港ゲリー街二九一〇

電話事務所サター四八一〇

非常用ハグリン五一〇四

日本人通譯在勤

內科外科泌尿科

—（診察及び相談に應ず）—

毎日午前十一時より午後三時迄

桑港ラグナ街一六〇八

松村醫院

移轉開業

慶應の名醫として金門產院內に於て開業中の處今回左記の場所に移轉開業致す新設のオーゾン療法に關する講演を願ふ事に致し候間諸君の中に御希望の方は御來院被下度候

診察

（午後一時より午前中は創傷者に限り御診察申上候）

急病者は夜中でも御來診の患者及

事務所

ウエスト一七六九六

ポスト街一七六二四

電話

住宅

ポスト街一七六一

電話

フィルモア一七六一

三澤藥局

1602 Post St., S. F.

電話ウエスト四七七三

武田菓子店

電話ウエスト八一一四

桑港ラグナ街一六〇八

翁

最中

銘

飴

茶

串團子

葛饅頭

練羊羹

祝餅に赤飯

かき餅販

餅卸小賣

春月堂

桑港　ポスト街一七二二

電話ウエスト一四二八

日曜祭

日無休

小田運送店

電話フィルモア〇四六一

すき燒

名物

元祖

博多屋

プウヤナ街

一七〇九

電話ウエスト（六三）

桑港市況　八月十日

賣行き可成だが　入荷多く相場安

概況　今朝市場は、土曜日のことで賣れゆき可なり良好であつたが、相場は寧ろ一般的には下向き歩調を示しつゝあつた。

▲キャベツ　市況やや軟調で標準物は一弗から一弗廿五仙、クヨンボー一弗廿五仙から一弗五十仙、稀には一弗七十五仙の高値まで。フラットは五十仙から七十五仙處をよぶ。

▲養蜂　ラズベリーは入荷薄で市況やや強硬で、十二バスケット物一弗二十仙までの高値を現し、ストロベリーも強く、バンナー種ドロアーは五六十仙、ユフクオマース一弗三十仙から一弗五十仙まで。

▲フイグ　入荷増したので市況弱く、ブラウク、ミラシヨンは一弗から一弗五十仙、ホワイトは七十五仙から九十仙。

▲カサバ　入荷極度に薄く、相場堅さ立たず

▲ピーチ　非常に市況悪く、デラーは七十五仙から一弗處のも相場でも入荷品を消化出来なかつた模様

▲ペヤー　これ復入荷多く市況弱く、飛びきりものは三弗廿五仙から三弗五十仙、上物二弗七十五仙から三弗一弗七十五仙から二弗廿五仙は一弗七十五仙から三弗迄。一等品は昨日より二十五仙方安い。

▲レモン　相變らず端境期で入荷薄を告げ、相場も上物九十五仙まで暴騰した。

▲グレープフルウツ　入荷薄のため相場は高く、各賣車へ奇極に二十五仙方の昂騰を示し、上物は目下五弗五十仙から五弗七十五仙までありつた。

野菜類

▲トメト　今朝サンデーゴから六百五十箱の入荷があつたが、然し市場は依然品薄で、サン港産二弗二七十仙ローカル物は三弗以上の高値を出してゐた。

▲ピンズ　依然市況弱く、荷受れ輻向顯著である。ケンタッキーは一仙半から二仙まで、ライマ市況は手堅く六、八仙處をよぶ。

▲胡瓜　四十仙から六十五仙の相場では潜化雖を覺ゆてゐた程で、市況は不振の極

▲ビー　一仙方引續み、上物八仙までをよぶ。まづ一服の商状

▲ペル、ペプパー　賣れゆき良好でラグ五十仙から七十五仙をよぶ

桑港市場　八月十日

果物相場

標準卸値　單位仙

ポンチ物 ビーフ 打	三五
キャロット 打	一五
トアニップ 打	一〇
ラディシ 青葱 打	二五
ビンズ 地方 袋	一〇〇
サック 斤	一〇〇
ラグ	一〇
一半	一〇
一	一〇
一	一〇
一

南加版

奇々怪々なる眞相
モントレーの怪事件
藤井整氏奮起して出張し事件は意外に展開の模様

探偵小說にありさうな奇々怪々なモントレーの同胞の變死事件は、昨年の八月四日夜モントレー市カントン樓の裏庭で鹿兒島縣人木原助次郎が和歌山縣人田畑岩楠氏（ともに）の頭部を傷つけなぐりつけ老人はそのまゝ脳病院にはこばれたが間もなく死去した事件はその後豫審において死因が頭部の負傷でなくて腦のはいかにも殘念だといふので出血にあるといふ理由で不起訴となつたが、常夜田畑側と木原側とは別々に宴會を開き木原の友人中濱世なるものが田畑側に來り木原は田畑氏に對して繼續賠償を要求し、その上に相當な方法を講ずることゝ相談がまとつた由である。この變死事件の豫審に檢事局を代表して出廷した藤井整氏は被告木原の縁戚人として正式に届出によりて新たに現場を見たに届入られてをり。藤井氏は書を出さなかつたので檢事局では會社側が破産申請を承認したものと見なして財産管理人の任命を裁判所に提出した。裁判所で管理人を任命すれば、たゞちに會社の財産を取あつて公賣に附し當然處分するものであるが、會社の財産は既にリンデー氏の手に渡つてゐるので、今度はリンデー氏側權者の抗爭になるわけで、債權者側では起きる、たゞ、夢中に、踏込み十日以内に破産申請をなしたのだからリンデー氏と會社との取引無効であるといひリンデー氏の方では會社を抵當として金を貸してゐる先優權を有してゐるが故に所有權は自分のものであると主張する。ここになつて、茶店の表に立つた小野は人々に申し聞かせた。

「安心して、ふるへられる」

と、一人が、つぶやいた。

「夢丸の小さく、ちゞみあがつてゐるのは――」

と、一人が、大きい聲をした。

「平八郎忠勝は、夢丸のことまで申してをらぬ」

と、小野が、眞面目な顔をして答へた。人々はぎつと笑つた。

「しかし、だから、としてゐるに越したことはあるまい」

人々は、この話で、いくらか心におちつきが出來た。主馬はいら〳〵した心さ、輕い恐怖で全身的な緊張とを感じて、口がきけないぐらゐに、重い氣持ちであつた。自分一人の音を、十五六人もの敵が狙つてゐるのかと思ふと、附人や、家來は物の用に立たぬやうにも、感じられた。十五六人が、一時に、自分へ飛びかかつてくるやうに思へ

「さ、御什度がよくば」

と、柴田がいつた。馬が、主馬の前へ引き出されてきた。

「乘物」

といふ柴野の聲に、駕が、横づけになつた。

「さあ、お召しくだされ」

と、柴野が、女にいつた。主馬の女房は鎖帷子の上へ、藤色の小袖を着て、

「くれ〳〵も、御油斷、あそばしませぬやう」

「判つてをる、早く、參れ」

「では――御無事に、御到着を御待ち申し上げます」

と、いつて、附人達に

「お願み申しまする」

さ、挨拶すると、駕の中へ入つた。奥方にしたがつてゆく、腰の立たぬ若黨、侍女、馬子たちは、口々に、褒をかけたり、餞金を當てたり、刀を改めたり、してゐる人々に、別れの挨拶をふ手管にした。

「御無用――」

さ柴田は、大きくうなづいた。人々は、次第々々に動きだした。茶店を出てしばらくすると、道は二つにわかれる。右へは、山形街道が、一路坦々として、山へかかると、赤湯をへて、越後に、米澤へ出る。今の驛道、線路をひである。

左を取れば、藤五村を右にして、田圃の眞中を一里あまり、大水澤山宮川にそふてゆくと、金山の下から、山道になつて、金山峠を越えて、高畠から、米澤へ出るが、一行は、小松で落ち合ふ手管にした。

柴野へついて右へ山形街道を行つたのが、十四人、殘つた人數が、腕、覺のある者ばかり、二十五六人――なんとなく、不安で、顏色のかはるのを押さへながら、それ〳〵仕度をしてゐた。

「眞剣勝負の時には、いかなる勇士でも、なか〳〵、落ちつかぬものぢや」本田平八郎に、戰場での御氣持ちは、いかゞなものと、ある人が聞いたら、平八郎、答へるに、始まる前は、たゞ、ぶる〳〵と身體がふるへ申す。いよ〳〵敵の中へ乘りこめば、たゞ夢中、なにも覺わ申さぬ、と、答へたが、そういふものぢや、ふるへたとて臆病者ではない、あまり、敵が、よく見わるると、かへつて怯懦の心が爭ひ、たゞ、夢中に、踏込み斬りたてるさ、よい、そのづも八郎、答へるに、始まる前は、たゞ、ぶる〳〵と身體がふるへ申す。いよ〳〵敵の中へ乘りこめば、たゞ夢中、なにも覺わ申さぬ、と、答へたが、そういふものぢや、ふるへたとて臆病者ではない、あまり、敵が、よく見わるると、かへつて怯懦の心が起きる、たゞ、夢中に、踏込み斬りたてるさ、よい、そのづも

岸浪畫伯羅府へ

漫遊中の岸浪畫伯は八月末頃羅府に來るが三四日遊ぶと、同氏は東京南畫壇の老大家岸浪柳溪氏の長男である

田畑氏を理無矢理に
木原側につれ
三浦日會長に語つて

去る四月十二日午後九時ごろ、三浦商會店員の失敗ゆき、その途中で中渡世はコブシを振りあげて田畑側の來客に向かひグズ〳〵ふとこれだけといひながら田畑老人を木原の座席につれゆくや否や木原は徹底をふり上げて老人の頭に叩きつけ、老人は氣絶してその後間もなく病院で死去した。その後木原が友人宅に隱れてゐたところを巡査に發見されたもので、事實が檢屍裁判の記錄についてこの事件が有耶無耶に葬り去る準備が整ひ次第あらためてこれは被告木原の縁戚人として正式に届出によりて新たに現場を見たに届入られてをり。藤井氏は書を出さなかつたので檢事局では會社側が破産申請を承認したものと見なして財産管理人の任命を裁判所に提出した。裁判所で管理人を任命すれば、たゞちに會社の財産を取あつて公賣に附し當然處分するものであるが、會社の財産は既にリンデー氏の手に渡つてゐるので、今度はリンデー氏側權者の抗爭になるわけで、債權者側では起きる、たゞ、夢中に、踏込み斬りたてるさ、よい、そのづも十日以内に破産申請をなしたのだからリンデー氏と會社との取引無効であるといひリンデー氏の方では會社を抵當として金を貸してゐる先優權を有してゐるが故に所有權は自分のものであると主張する。ここになつて、茶店の表に立つた小野は人々に申し聞かせた。

「安心して、ふるへられる」

と、一人が、つぶやいた。

「夢丸の小さく、ちゞみあがつてゐるのは――」

と、一人が、大きい聲をした。

「平八郎忠勝は、夢丸のことまで申してをらぬ」

と、小野が、眞面目な顔をして答へた。人々はぎつと笑つた。

「しかし、だから、としてゐるに越したことはあるまい」

人々は、この話で、いくらか心におちつきが出來た。主馬はいら〳〵した心さ、輕い恐怖で全身的な緊張とを感じて、口がきけないぐらゐに、重い氣持ちであつた。自分一人の音を、十五六人もの敵が狙つてゐるのかと思ふと、附人や、家來は物の用に立たぬやうにも、感じられた。十五六人が、一時に、自分へ飛びかかつてくるやうに思へ

「さ、御什度がよくば」

と、柴田がいつた。馬が、主馬の前へ引き出されてきた。

「乘物」

といふ柴野の聲に、駕が、横づけになつた。

「さあ、お召しくだされ」

と、柴野が、女にいつた。主馬の女房は鎖帷子の上へ、藤色の小袖を着て、

「くれ〳〵も、御油斷、あそばしませぬやう」

「判つてをる、早く、參れ」

「では――御無事に、御到着を御待ち申し上げます」

と、いつて、附人達に

「お願み申しまする」

さ、挨拶すると、駕の中へ入つた。奥方にしたがつてゆく、腰の立たぬ若黨、侍女、馬子たちは、口々に、褒をかけたり、餞金を當てたり、刀を改めたり、してゐる人々に、別れの挨拶をふ手管にした。

「御無用――」

さ柴田は、大きくうなづいた。人々は、次第々々に動きだした。茶店を出てしばらくすると、道は二つにわかれる。右へは、山形街道が、一路坦々として、山へかかると、赤湯をへて、越後に、米澤へ出る。今の驛道、線路をひである。

左を取れば、藤五村を右にして、田圃の眞中を一里あまり、大水澤山宮川にそふてゆくと、金山の下から、山道になつて、金山峠を越えて、高畠から、米澤へ出るが、一行は、小松で落ち合ふ手管にした。

柴野へついて右へ山形街道を行つたのが、十四人、殘つた人數が、腕、覺のある者ばかり、二十五六人――なんとなく、不安で、顏色のかはるのを押さへながら、それ〳〵仕度をしてゐた。

「眞剣勝負の時には、いかなる勇士でも、なか〳〵、落ちつかぬものぢや」本田平八郎に、戰場での御氣持ちは、いかゞなものと、ある人が聞いたら、平八郎、答へるに、始まる前は、たゞ、ぶる〳〵と身體がふるへ申す。いよ〳〵敵の中へ乘りこめば、たゞ夢中、なにも覺わ申さぬ、と、答へたが、そういふものぢや、ふるへたとて臆病者ではない、あまり、敵が、よく見わるると、かへつて怯懦の心が起きる、たゞ、夢中に、踏込み斬りたてるさ、よい、そのづも

東散港の夏期學校
昔を偲ぶ天幕生活
百七十名の老若男女が海岸で清い集會

去る五日から東散港に開催中の有馬前大臣の「性と犯罪」に確實國夏期學校は例年の通り遠ついて講演、明日は平僧徒の大會、夜の親睦會には岩崎氏の數陣羽織をつけてゐる主馬の御殿を見せることになつてゐる。日曜は最後の日とて午前は

「くれ〳〵も、御油斷、あそばしませぬやう」

「判つてをる、早く、參れ」

「では――御無事に、御到着を御待ち申し上げます」

と、いつて、附人達に

「お願み申しまする」

さ、挨拶すると、駕の中へ入つた。奥方にしたがつてゆく、腰の立たぬ若黨、侍女、馬子たちは、口々に、褒をかけたり、餞金を當てたり、刀を改めたり、してゐる人々に、別れの挨拶をふ手管にした。

「御無用――」

さ柴田は、大きくうなづいた。人々は、次第々々に動きだした。茶店を出てしばらくすると、道は二つにわかれる。右へは、山形街道が、一路坦々として、山へかかると、赤湯をへて、越後に、米澤へ出る。今の驛道、線路をひである。

左を取れば、藤五村を右にして、田圃の眞中を一里あまり、大水澤山宮川にそふてゆくと、金山の下から、山道になつて、金山峠を越えて、高畠から、米澤へ出るが、一行は、小松で落ち合ふ手管にした。

柴野へついて右へ山形街道を行つたのが、十四人、殘つた人數が、腕、覺のある者ばかり、二十五六人――なんとなく、不安で、顏色のかはるのを押さへながら、それ〳〵仕度をしてゐた。

「眞剣勝負の時には、いかなる勇士でも、なか〳〵、落ちつかぬものぢや」本田平八郎に、戰場での御氣持ちは、いかゞなものと、ある人が聞いたら、平八郎、答へるに、始まる前は、たゞ、ぶる〳〵と身體がふるへ申す。いよ〳〵敵の中へ乘りこめば、たゞ夢中、なにも覺わ申さぬ、と、答へたが、そういふものぢや、ふるへたとて臆病者ではない、あまり、敵が、よく見わるると、かへつて怯懦の心が起きる、たゞ、夢中に、踏込み斬りたてるさ、よい、そのづも

巡査に突當つて
膏藥代一萬弗也
三浦商會店員の失敗

去る四月十二日午後九時ごろ、三浦商會店員の操縱する自動車がモータサイクル オフィサー ブローデ氏に突當り足部を挫折せしめその他數ヶ所に負傷を負はしたのでカブは三浦商會を相手取り二萬五千弗の損害賠償を提訴したところ、去る五日羅府上級裁判所で裁判開かれ陪審官は賠償額一萬弗の判決を下したと

▲廣島縣堺の宮司は今度の日曜日に開催

▲羅府日曜の殺人書記長は昨夜

南加雜信

仇討淨瑠璃坂（完）
直木三十五作

羅府海產の管理人任命を請願

羅府海產の破產事件に關し裁判所は七月八日、けふ自宅で引籠り旅愁中、同日まで ハリウード官邸に潛在

▲モントレーに出張中だつた藤井整氏は本日歸羅

▲今夕聖林アレテラクラブで高岡領事代理主催の市内各英、邦人新聞記者を招待、懇談、歡迎につき打合せあり

▲ニューヨーク總領事館の矢野官補、廣兒島縣人は歸朝の途、來羅、十二日まで ハリウード官邸に潛在

?

このうちに何が書いてあるでせう？

?

南加版

奇々怪々なる眞相
モントレーの怪事件
藤井整氏奮起して出張し事件は意外に展開の模様

田畑氏を理無矢理に
木原側につれ
三浦日會長に語つて

巡査に突當つて
膏藥代一萬弗也
三浦商會店員の失敗

東散港の夏期學校
昔を偲ぶ天幕生活
百七十名の老若男女が海岸で清い集會

コロラド河配水問題
米墨委員の討議
來る二十日墨都にて
米國側委員顏觸決定

米墨南國間に横たはる幾多の國際問題のうち加州一帶の農家に深い關係をもつてゐるものはコロラド河の配水問題である。この問題は過去多くの米墨政者によつて討議されたるも意見に相違あり依然として未解決のまゝ殘されてゐる。米國はコロラドダムの工事をいそいでゐるがまづ米墨間の配水問題を解決する必要あるので、再び米墨委員は來る二十日墨都に會合を催すことになつた。米國側よりの代表としてはサンデーゴ市の水力技師であり市議員士であるコンドミニエド博士が出席し決定

岸浪畫伯羅府へ

羅府海產の管理人任命を請願

仇討淨瑠璃坂（完）
直木三十五作

日本人の慢性胃腸病は胃擴張症だ
慢性胃腸病に苦しむは人生の最大不幸、岩城の胃腸藥ダイゼリンを試みて救はれたと喜ぶ人々の如何に數多き事よ
驚くべき事實
胃擴張と慢性胃腸病
岩城の胃腸藥ダイゼリン
岩城ドラッグ商會
The IWAKI DRUG CO. 201 E. First St. Los Angeles Cal.

今週映畫
松竹キネマ特作品
金色夜叉終篇
貫一と滿枝 全七卷
義士傳
勝田新左衛門 全三卷
桃中軒浪右衛門
富士活動常設館

VA(82)3377
ラッキータキシ
122 N. SAN PEDRO ST.
一度御乘り下さい

ラッキータキシ
ツラベルビユーロ

岩城ドラッグ

太陽光線治療器
有働貞三
118 GAREY ST. Los Angeles, Calif.
422 M St., Sacramento, Cal.
廣告は無言のセールスマンなり
日米新聞社營業部

日米興行會社
市川菊江
三味線たはやし
關東辯士界の横綱
樋口旭琅
金門ホールに於て
八月十日(土)十一日(日)兩夜
◎コンコード　八月十三、十四日
◎オークランド　八月十五、十六日
後援　日米興行會社
名優　井上正夫　主演
名花　田中絹代　助演
天誅組余聞
舊劇「或る兄弟の話」
森野五郎　主演
人の世の姿
此映畫を見ずして日本映畫を論ずる勿れ
この映畫は昭和三年七月特に歌舞伎座に於て封切されて以來日本全國至る處にて「これ程良い映畫を見た事がない」と迄評された松竹キネマ折紙付の名作品です
新派としてはこれ以上の映畫は他に無し
此の名映畫に此の名辯士!! 見逸すは一生の損

病中病後ノ營養ニ
活力素
東京傳五郎兵衛町
帝國活力商會

ホテル・ベレー
HOTEL VALLEY
Phone VA. 8386
106 S. Hewitt St., L. A. Cal.

羅府日米新聞

シヤポレー及ホード自動車販賣
夜間兼業
SKグラージ

藤井事務所

大久保齒科醫院
Tel. Metero 2482

小谷保險事務所
小谷英雄

UNION HOTEL
345 E. 1st St.
Los Angeles Cal.
ローサンゼルス市東一街三四五
ユニオンホテル
館主 迫田政雄

かまぼこ長本

確實迅速
サンピードログラージ

促肥素
有働工場

太平洋印刷所

福山家具金物店

フレスノ（九日）

神港、體育會 兩軍の陣容成る

激戰を豫期する此一戰

日本全國中等學校本年度の野球選手權を有する神港商業學校軍の來布については、しばしば報道した如くなるが十三日火曜布市日本人野球場に於ける兩軍の陣容は

一塁後藤　中堅中根　投手西垣　左翼高瀬　三塁本モ遊撃濱崎　捕手倉　二塁寺岡右翼牛田

布體吉川（中）左翼山崎兄　遊撃飯野　二塁寺岡　一塁村嶋　捕手吉川弟　投手村島　山崎弟　補充毛保ジョンソン　木下　太田　土井

にて入場料五十仙を申受くるが富日は定めて激戰を見るべくフレスノ體育會は歡迎準備その他について昨夜演藝倶樂部内において役員會をひらき一行滯布中のプログラムを左の如くつくつたと

十三日（火）午後二時日本人野球場において試合▲午後六時花月劇場において體育會主催の歡迎晩餐會（會費一弗廿五仙）▲希望の方は十二日（月）までに花月、天賞堂またはウエストサイドグレージまで申しこみを乞ふ▲午後八時佛教會において體育會野球部から佛教青年會主催で市内及び地方青年男女を陪賓として レセプションをひらくこと

十四日（水）神港軍來布の上決定するはやなるも多分有志にて地方見學に案内することになるべし

因に昨夜の役員會に於いて同窓甲田中次吉氏死去につき後任として西中頼一氏を推薦したと

●ブラム決定　由央政府市情報部の報告によると本年度のブラム市場は昨年の三倍、一昨年の三倍の好況で過去二日間の取引は一斤十仙五厘を越高とし、十斤仙の間を呼びかるも出荷者は仲買人のオファーを拒んで出荷者は仲買人に加州よりの出荷者なるも、出荷増加が市價を稍弱ならしめたるもの如く今週にはいつて加州よりの出荷數は五日九十貨車、六日八十八貨車、七日九十六貨車に達し本年にはいつて七月末までの同日までの二千二百五十貨車に對し千二百五十三貨車であると

●タムソン　クレー一弗から一弗十仙の間を呼びかるも出荷者は仲買人のオファーを拒んで出荷者なるも、出荷増加が市價を稍弱ならしめたるもの如く今週にはいつて加州よりの出荷數は五日九十貨車、六日八十八貨車、七日九十六貨車に達し本年にはいつて七月末までの同日までの二千二百五十貨車に對し千二百五十三貨車であると

●ブラム決定　由央政府市情報部の報告によると本年度のブラム市場は昨年の三倍、一昨年の三倍の好況で過去二日間の取引は一斤十仙五厘を越高とし、十斤仙の間を呼びかるも出荷者は仲買人のオファーを拒んで出荷者なるも、出荷増加が市價を稍弱ならしめたるもの如く今週にはいつて加州よりの出荷數は五日九十貨車、六日八十八貨車、七日九十六貨車に達し本年にはいつて七月末までの同日までの二千二百五十貨車に對し千二百五十三貨車であると

東部の葡萄市場

稍々弱氣味

中央政府市場情報部の報告によると東部の葡萄市場は稍弱氣味▲FOB取引は餘り多からず▲タムソンがクレー一弗から一弗十仙の間を呼びかるも出荷者は仲買人のオファーを拒んで出荷者なるも、出荷増加が市價を稍弱ならしめたるもの如く今週にはいつて加州よりの出荷數は五日九十貨車、六日八十八貨車、七日九十六貨車に達し本年にはいつて七月末までの同日までの二千二百五十貨車に對し千二百五十三貨車であると

オークランド

●神戸展覽會　新興商畫界の泰斗岸渡鐵山畫伯は今度佛國政府の拝命に依り本朝パリーに出發十四日頃歸布の豫定

●ルーズベルト伯　滿州三藏氏は本朝パリーに出發十四日頃歸布の豫定

●パーソナル　バレア大隅三藏氏夫人歸布▲蘆島較師及び奥江清之助氏は南加サンピドロに於て開催の加州合衆年會より本歸布し王府の藤原與吉氏も年會より歸布中に立ち寄る▲開教使夫妻はパラスキ湖より昨夜歸布▲國分勝之助氏の入歸布▲國分勝之助氏の親戚訪問のため出發今秋歸米のはず

●婦人部　だより　ザンオキン小林氏は本朝の同日夫人歸布▲蘆屋門郎氏長男克己君病死去▲ボールス伯爵島氏令嬢を見送りのため支社主任亀野氏は本朝パリーに出發十四日頃歸布の豫定

●支社主任　パリー行　布市大學から加州大學、轉校の知子嬢は本朝パリーに出發十四日頃歸布の豫定

●課の映画の夕　デレー・スエ氏は本朝パリーに出發十四日頃歸布の豫定

●ボールス伯爵　三宮伊郎氏長男克己君は本朝布都々立病院に於てタンクの手術中死去し十日午後二時佛教會において葬儀が執行さる

●役員會を婦人會　美以教會では來る十一日の日曜午後二時より婦人會定例會興業係女史の講演あり多數會員の出席希望また愛國會において司會者の挨拶後役員會員の出席希望また愛國會において司會者の挨拶後役員會員の出席希望また愛國會において司會者の挨拶後役員

サクラメント（十日）

本十一日來櫻の神港對スター陣容

午後二時からヨーローグラウンドに於て試合

本年度日本の全中學野球界の覇權をにぎり大每より米國に派遣された神戸の神港商業學校野球選手達當市日本人軍との試合は、いよ〜十一日の日曜午後二時よりヨーロー、グラウンドにおいて擧行される兩軍の陣容左のごとし

神港	後藤 垣高 岸中 濱平
	藤岡 主瀬本根倉崎田
	一二三投左三中捕遊右
スタ	澤中 村富石大谷富武原
	一浦石中 川川
	三村富石大谷

なほ同日午後七時より金華樓において神港選手一行の歡迎會を催す由

和歌山縣人會の艦隊歡迎準備

評議員會を開いて決定

當市の和歌山縣人會では昨九日午後八時より日の本旅館において評議員會を催し練習艦隊歡迎の件を協議したがその結果は市内および地方在住の縣人より寄附金を募集同艦隊乘組の同縣出身の將士へ來航記念品をおくること

右に關し崎山、稻田、宮井、上田、坂本、西川、谷口の諸氏は寄附勸誘にまはるはずなれど訪問もれもあるやも知れぬ故有志は崎山商店か日の本旅館へ申しこまれたしと。

羽生へて賣れる艦隊歡迎旗

慰問袋に入れるに適す

當市山田櫻次郎氏は今回練習艦隊歡迎の考案として日本人の商店を通じて賣だしつゝあるが、同氏は最も良い記念品として慰問袋にいれて練習艦隊將士におくる適してをる

自動車暴れ 歩道に乘り上げ

丸善藥品のフロントを破壊して逃げ去る

昨九日の四時ごろ國一酔漢の操縦せる自動車が第四街丸善藥品のフロントに突進しベランダ下の板塀を破壊し自動車を後にもどしそのまゝ日本人アレをまつわりなりしが本日來宅す。なほ中村開敏使氏渡米し本日吉木氏はたしかめたれば不警察に報告し逃走したが自動車の番號だけは逃走したが自動車の番號だけは不明なりしが本日來宅す。なほ中村開敏使氏渡米し本日吉木氏はたしかめたれば不警察に報告し

A Newspaper For All Peoples Interested in the Welfare of Japan and The Japanese People

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

The Largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

NUMBER 10703. Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter. SAN FRANCISCO, CALIF., SUNDAY, AUGUST 11, 1929.
Copyright 1928 By The Japanese American News
Per Month $ 1.00 Per Year $11.00

FORMAL SUIT IS REQUIRED AT S.F. BALL

Program Announced For Reception at Fairmont Hotel

Either a full formal dress suit or a tuxedo will be required of all male guests at the brilliant reception and ball to be given on the evening of August 19 at the Fairmont Hotel in honor of the officers and midshipmen of the Imperial Japanese training squadron, it was announced yesterday by Minoru Iino, secretary to Consul General Ida.

For the girls either a decollete dress or evening gown is required. The invitation should be presented when requested.

The tentative program for the evening follows:

The reception opens at 8:30 o'clock, and at 9:15 there will be a brief speech in toast to the President of the United States by Morikazu Ida, consul general of Japan.

The orchestra will next play the American national anthem. Vice Admiral Bostwick, U. S. N., commander of battleship division, battle fleet, will next propose a toast to His Majesty the Emperor of Japan.

The Japanese national anthem will be played by the orchestra. This will be followed by a welcome address by James Rolph Jr., mayor of San Francisco. Vice Admiral Kichisaburo Nomura, commander of the training squadron, will make the response in behalf of the honor guests.

The rest of the evening will be devoted to dancing. Refreshments will be served.

Citizens Protest Against Ruining Japanese Relics

(Continued from yesterday)

2. The Tengaimon gate—storm center of this issue—retaining the original exquisite architectural style of the Tempyo Period, like the Shosoin musuem, is not only among the oldest and most stately specimens of VIIIth century architecture, but one that enchances the beauty of Nara park, but if the proposed highway flanks the eastern side of the gate, it will not only diminish its beauty and its scheme, but will hamper its use as the main entrance of the Shosoin temple.

YAKEIMON GATE

3. The Yakeimon gate is scarcely less important than the Tengaimon gate, in that it typifies the ancient town planning schime of the Tempyo Period, together with the Seidaimon that guards the immediate apthat guards the immediate approach proach to the temple compound. Furthermore these gates bear the inscriptions of the Emperor Shomu. Any attempt to isolate these gates is objectionable, on the ground that it would impair the national morale.

4. The Hannyaji temple likewise is exceedingly important, having been founded at the beginning of the Nara court, and therefore the compound must be retained intact, including the tile-roofed clay fences —to say nothing of the indesirability of having a highway penetrate the compound.

THE VERY LIFE OF NARA

5. Historical relics, plus natural scenery, are the very life of Nara, of which it cannot be too proud or grateful, and therefore it would do well to preserve them well, while in the event of the proposed highway reducing or imparing any of them even in the slightest degree, Nara will become the laughing-stock of the world.

6. Whatever argument is advanced to the effect that the proposed highway can be cut so that with proper discretion, it would in no way endanger the historical relics, is absolutely worthless. The ends of the proposed highway can be served just as well, or better, by changing the route to the Horen section. In consideration whereof, we could ask you to reconsider the route of the highway.

The Tengaimon gate stands about 360 feet west of the Shosoin, the Imperial museum, and was built during the Tempyo Era, between 749 and 769. It is regarded as the highest type of Tempyo architecture.

U. S. Wins Trophy As Upton Close's Tour Party Members Hold Oratorical Contest With Students of Nippon

TOKYO, July 19—(By Mail)—The speaking team of the Upton Close Student Expedition defeated the Japanese student orators in an English Oratorical contest held at the Nihon Seinen Kan, Aoyama, on Thursday evening. The affair was held under the auspices of the Inter-Collegiate Federation of English Speaking Societies of Japan, Professor Kentaro Omiya acting as chairman. The entire lower floor of the auditorium was filled with the 110 members of the touring American men and women students, and by Japanese collegians of both sexes.

TEN SPEECHES

Ten speeches were made in all, each side being represented by five speakers. The Japan Times Cup was given to the American team, while first medal went to Chester Williams (A) for his oration on "Pacific Student Cooperation," second place to Seitaro Ishii (J) for his speech on "Our Mutual Moral Opportunities," which won prolonged applause, and third medal to Miss Fumiko Saisho, a student of Tsuda College, Tokyo, for her speech on "The Women of Japan Today" which was considered to be the most thoughtful of the speeches. Honorable mention was given to Ronald Anderson and Miss Viola Fay of the American Team.

JUDGES

The opening address was made by M. Zumoto, proprietor of the Herald of Asia and well known Japanese publicist, who also acted as one of the judges, the others being Messrs. Burton Crane of The Japan Advertiser, Munro B. Hall of the American Embassy, Ken Tsurumi of the Foreign Office and Yoshio Nitobe of The Japan Times.

After the contest Upton Close (Johef Washington Hall), leader of the student party, spoke stating that he regretted that the American speakers had not had more time to prepare and expressing appreciation for the hospitality of the Japanese students. A photograph was then taken of the Japanese and American student bodies and tea served, the Inter-Collegiate Federation acting as hosts.

ON TOUR

The Upton Close Oriental Expedition which arrived on Wednesday, went to Kamakura soon after they landed and spent their first night there. They returned to Tokyo on Thursday where they broke up into four groups, according to their interests.

Groups A and B were entertained on Thursday afternoon at 3:00 o'clock at tea by the Minister of Education. At the same hour groups C and D were entertained by the Minister of Commerce.

Thursday evening all four groups attended the international oratorical contest at the Nihon Sei Nen Kan. This morning the entire company were free to go where they pleased at two o'clock this afternoon, all four groups went to Nikko.

THE WEATHER

San Francisco and bay region: Fair and mild with fog at night; gentle westerly winds.

Rain Storm Floods Nippon Following Summer Drought

Special to The Japanese American News

TOKYO, Aug. 10.—While Tokyo remained without rain in sizzling summer heat since early July, a heavy rainstorm swept nearby prefectures last night causing floods in some districts and sweeping more than 50 houses away.

A number of landslides were reported today to have occured, with telephone service dislocated and railroad service interrupted. One train was derailed and the engineer killed. It was feared there were other casualties.

S. F. SCOUTS TO RETURN

Camp Fire Girls Also Due Home Sunday From Camp

The Japanese Boy Scouts of Troop 12, who are at the Russian River camp for their two-week vacation trip, will return to this city today (Sunday) under the leadership of Scoutmaster Sano.

The Camp Fire girls, under the guardianship of Miss Emily Sano, will also return today. The girls had joined the scouts at the summer camp on August 3.

* * * * * * * OUR JUNIOR SECTION * * * * * * *

BIRTHDAYS: Ruth Susuko Yamashita and Hime Sasaki.

Here is part of a delightful letter.

—Junior—

Dear Junior Editor:

Although I have not written I have enjoyed our Junior Section very much. I have made a book in which I put all the Junior members' addresses. It is now quite filled up so I will have to make a new one I guess.

I have two members writing to me, Chiyoko Yamamoto and Cora Takemoto. We three have become very good friends.

—Junior—

My father, brother, and sisters are working in the peas. I cook supper and clean up the house and weed the garden. Ho hum! I have to arise when the bell rings five and help make lunch (they do not come home for dinner) and help cook breakfast.

I get paid for cleaning the house etc. so maybe I can soon get to take the Weekly. I would just love to. I am wishing the Weekly the best success at all times, and that it may grow and grow and make others happier.

—Junior—

(Then followed a nice message to Obasan, who thanks you, Wuta.)

I would like to receive more letters from members, either boys or girls. I will answer quickly.

Your true Junior member
Wuta Terazawa
P. O. Box 54, Sugar City, Idaho.

—Junior—

More mottoes for the voting (Please keep them until all are printed.)

—Junior—

40. Manhood not scholarship is the first aim of education.
41. Onward! Opportunity is here.
42. The best is none too good.
(These sent by Shea Sasaki.)

S. J. CHILD, 2, CRUSHED BY BIG TRACTOR

Sleeping Tot, Asako Mukai, Killed In Farm Mishap

Special to The Japanese American News

SAN JOSE, Aug. 10.—Two-year-old Asako Mukai, second daughter of a farmer at the Coyote Berry Farm, met a tragic death Friday afternoon under the wheels of a huge tractor operated by Mr. Sugioka.

A touch of irony is disclosed in this accident, which occured while Sugioka was tilling the soil with a heavy farm tractor. Observing a baby buggy lying under an oak tree on his path, and believing the child to be safely sleeping within it, he carefully swerved the tractor aside, when unwittingly he crushed the child, who was asleep on the ground. When he realized what had happened, he slammed on the emergency brake, but his efforts proved futile as the heavy wheels had already crushed the child.

The child was already dead when she was brought to the nearest hospital. It is thought that Sugioka, seated far behind the engine of the tractor, was unable to observe the child in time to prevent the accident.

Purpose of Tour By Nichibei Club Told In Yokohama

YOKOHAMA, July 20.—(By Mail) —Headed by George C. Lorbeer, a party of seventeen members of the Nichi-Bei Club (Japan-Ameria Society) of the Lawell High School of San Francisco arrived at this port aboard the N.Y.K. liner Taiyo Maru yesterday morning.

Aboard the ship Mr. Lorbeer gave the pressmen the following statement: "We are making this trip to Japan utilizing nearly ¥1000 out of our own pockets. Why? Because we are students. We want to study Japan. With open minds and open eyes we want to learn Japanese views of America."

Dr. Eckener Will Fly Zep to Tokyo For Globe Flight

FRIEDRICHSHAFEN, Germany, Aug. 10.—"Our world trip to Tokyo will be resumed in about four days, but not before Wednesday," Dr. Hugo Eckener, commander of the Graf Zeppelin, told International News Service' this afternoon.

"The 'skill' of the ship is loosened somewhat. It must be tightened, but that is a task that can soon be finished."

HAMAGUCHI BUYS VILLA

Handsome Manison Is Located at Kamakura Resort

Special to The Japanese American News

TOKYO, Aug. 10.—Yuko Hamaguchi, the new Japanese Liberal Premier, has acquired a stately mansion for his summer home at Kamakura, a seaside resort, it was revealed today.

The estate covers about an acre of ground (4000 tsubo), and the building is a two-story affair with seven rooms in the upper story and twelve in the ground floor. It is breathed in the hostile camps here that this somewhat pretentious mansion does not fit well with Hamaguchi's economic policy.

When he took over the office of the Premier, Ex-premier Giichi Tanaka had advised him to acquire a villa at Kamakura where he may spend his week-ends for recreation. Hamaguchi sought to follow this suggestion but was unable to acquire a suitable mansion until this time. An offer by Baron Iwasaki, Japan greatest money baron, for the use of his summer villa was refused by Hamaguchi.

HAMAGUCHI BELIEVER OF HONESTY IN GOVERNMENT

By L. G. MASUI

(Continued from yesterday)

The late Count Takaakira Kato, who was a close relative of Baron Iwasaki, the head of the Mitsubishi Family, had four lieutenants. They were: Messrs. Wakatsuki, Hamaguchi, Egi and Adachi. The first three men have been government officials while Mr. Adachi has been strictly a party man. Both Mr. Wakatsuki and Hamaguchi have been noted for their financial ability and eloquence while Mr. Egi has been regarded as the foremost strategist among Count Kato's followers.

Mr. Adachi, who is now Home Minister is known as the "god of election" because of his thorough knowledge about the conditions of different election districts and in consequence he knows how to expand the power of the Minseito in different localities. His selection for the present post had been anticipated by all because of the high degree of probability that the Government will have to dissolve the Lower House and call a new election, in which event the "god of election" will be called upon to serve his party.

Of these four lieutenants of the late Count, Mr. Hamaguchi probably has been more trusted by him than any other. It is said that the count once said to his close friends that while Mr. Wakatsuki was unsurpassed in respect of his clear headedness, no one could beat Mr. Hamaguchi in point of honesty and sincerity.

A GREAT DEBATOR

Mr. Wakatsuki is the most eloquent statesman in this country and no one can beat him in a debate; but somehow his bearers feel that there is some sophistry behind his eloquence. This is why his political enemies used to call him "usotsuki" or liar. But the truth is that Mr. Wakatsuki does not tell any lie, but he only presents his case in such a way that it is almost impossible for his opponents to refuse him.

On the other hand, Mr. Hamaguchi is also a remarkable debator. But his hearers get better impressions as compared with Mr. Wakatsuki probably because his tone is grave and his apearance is serious without affection. The general public in any country is more or less impressionistis and intuitive. Confucius says that smooth words and good looks are not the signs of sincerity, and you bet your boots that the new Premier of this country is not a Valentino.

But let us peep into the institutional background of Mr. Hamaguchi's political position. That he was one of the lieutenants of the late Count Kato is the key to this inquiry. I do not mean to say that the late Count tried to further the economic interests of Japan's foremost business house, namely, the Mitsubishi. But the fact remains that the nation's economic interests themselves have been so closely knit together with those of this gigantic firm that an attempt to enhance the material welfare of this country will necessarily has a close bearing upon the economic activities of the Mitsubishi or for that matter the Mitsui—another great business firm in the Empire.

RESPECT OF CABINET

If any cabinet should pay a special respect to the wishes of one of those two firms, it is because their economic activities cannot be disregarded, so long as our economic system remains in its present form, if the nation's material welfare is to be protested against any posible danger—whether a communistic plot or a foreign competition.

We may suppose then that the late Count Kato who was intensely patriotic as well as intelligent realized this and that the political actions of his cabinet were dictated by this perception. When he died in harness, Mr. Wakatsuki, who was Home Minister, became his successor but when the latter's cabinet resigned following attacks thereon in the Privy Council, Mr. Hamaguchi and not he was elected the new president of the Kenseikai (now Minseito). Had Mr. Wakatsuki remained the chief of the party, he would have been called upon to succeed Baron Tanaka.

HATES TO BOW

Now why was Mr. Hamaguchi selected as the chief of the Minseito? This question is partly answered by Mr. Wakatsuki himself. He has often declared in press interviews that "he simply cannot bend his knees to get money from wealthy persons for the party." His nature revolts at the very idea. The head of a political party must have money for general elections and other party expenses. Nor is such money small in amount. But Mr. Wakatsuki "hates to bow before others to receive contributions." "Nothing doing," he says.

But no one will think for a moment that Mr. Hamaguchi loves the job which is so distasteful to Mr. Wakatsuki. How then did Mr. Hamaguchi happen to become the head of the Minseito? The answer to this question canot be answered without referring to Dr. Mitsugu Sengoku, retired director of the Mitsubishi Interests, but who still has a powerful say when it comes to the question of contributions the firm may make to parties.

TWO CHARACTERS

Now, Mr. Wakatsuki is not a sort of man who is pleasing to a hard-headed old man like Dr. Sengoku; the former has been a bureaucrat for too many years to be pleasing to an old man who reverts human sentiments above administrative convenience. Mr. Hamaguchi is quite different in this respect. He need not bow before any body to secure contributions for his party. He is a man of few words and of no smile, but that is sufficient to inspire the confidence of Dr. Sengoku.

The intelligent reader will patch up what I have written rather vaguely.—(End).

SINO-NIPPON MEET IN G. G. PARK TODAY

Singles and Doubles Carded In City's Net Contest

San Francisco's Oriental supremacy in tennis will be tested Sunday when the local Chinese net aces swing into action with the Japanese racketeers at the Golden Gate Park courts. The day's matches will consist of both the single and doubles games. The tournament starts at 9 a.m.

The lineup:

Asakura vs. Cheng, Shimizu vs. Chishu, Shibuya vs. Chien, Isomura vs. Chan, Koyanagi vs. Wong.

DOUBLES

Shimizu, Shibuya vs. Chishu, Chan; Asakura, Isomura vs. Cheng, Chien.

OAKLAND TO FETE YOUTH

Aoki Will Leave for Nippon On Shinyo Maru Wednesday

Special to The Japanese American News

OAKLAND, Aug. 10.—Members of the local Japanese Methodist Church will tender a farewell reception in honor of Shigeo Aoki, a prominent leader of the church, Sunday evening in the social room. The party starts at eight o'clock.

Mr. Aoki will leave for Japan aboard the N.Y.K. liner Shinyo Maru on August 14. A graduate of the University of California, he expects to teach at the Aoyama Gakuin, a Methodist college in Tokyo.

A native of Oakland, where he has been prominent in the second generation circle, the young prospective professor is well known to a host of friends of the Bay district who are expected to give him a hearty send-off when the ship departs on Wednesday.

Japanese Youth In Vancouver Snatches Junior Net Crown

Special to The Japanese American News

VANCOUVER, Aug. 10.—George Yoshie, 17-year-old Japanese youth and member of the local Japanese tennis club here, on July 17 won the British Columbia Junior Tennis Championship, by mowing down his opponent in straight sets, in the finals held at Victoria.

This is the first time that a resident Japanese in Canada has ever made his presence felt in Canadian tennis circles to such a marked degree. George was born in Canada and is at present student of the British Columbia University. He had won, in addition, the Vancouver Junior tennis championship to his credit.

BOXER LOST BY DECISION

Local Papers Support Kimura As He Loses To John Norman

Q. Kimura, a favorite Japanese boxer, was deprived of a decision over his opponent, John Norman, in a six-round bout at the Dreamland auditorium Friday night.

The snappy Japanese leather-pusher out-fought Norman through the six rounds, and the decision came as a surprise to the spectators. The San Francisco Chronicle in the issue of the following morning declares that "the decision was unearned."

Others newspapers are almost unanimous in denouncing Referee Joe Gorman's unsatisfactory decision. The San Francisco News says that Kimura out-fought and out-pointed Norman in five rounds, and the referee raised the wrong arm when he awarded the decision to Norman.

This was the third time that the two boxers met, each having scored a victory over the other in the past bouts.

Stories of Tong War Harmful to S. F. Chinatown

Chinese residents of San Francisco have a movement under way to "debunk" their Chinatown.

Leading Chinese are tired of magazine stories, motion pictures and the misrepresentations of guides who conduct tourists through the Chinese quarter which depict it as a center of tong wars, opium sprees and other sinister activities.

The motion pictures especially have done much recently to arouse the ire of those who do not care to have their Chinatown misrepresented. Since the advent of the "talkies" two highly advertised pictures have been released which might cause the uninitiated to believe that the city's Chinese district is a nest of gangsters, opium smugglers, and even worse.

Both these sound pictures were taken in Chinatown itself and many scenes show buildings and landmarks that could easily be recognized by a visitor who first sees the pictures and then the Chinese district, and thus the visitors might be led to believe that the super-dramatic movies might depict some element of truth, according to the leaders of the "debunking" campaign.

TOO MUCH IMAGINATION

Prominent among these leaders is Toy Y. Lowe, manager of a leading Chinatown mercantile establishment and vice-president of the Loung Kong Tien Yee, or Four Families Club, one of the leading national Chinese societies. As a first step he had the Four Families Club, the Six Companies and other societies that control the show places of Chinatown bar parties conducted by guides. The guides, he contends, draw too heavily on their imaginations in their "spiels" to the extent of describing innocent business houses and clubs as opium dens and vice resorts.

MISREPRESENTED

"Here is an instance," explained Mr. Lowe. "There are dozens of little shops with blinds drawn along the streets of Chinatown. I heard a guide, one of those licensed by the city, tell a party that one of these shops was an opium den. As a matter of fact, the shop he pointed out is an importing and exporting firm that does a million dollars a year business."

Mr. Lowe admitted that there was a time, before the San Francisco earthquake and fire of 1906, when Chinatown had its sinister side, with its tong wars, subterranean prisons and passage ways, opium dens and smuggling rings, but sad as it might be to the viewpoint of the imaginative visitors none of these things exist today.

"Chinatown is now simply a district where industrious, sober Chinese live and work," said Mrs. Lowe. "We have fewer unemployed, fewer criminals, fewer drug addicts, than some other sections of the city. And, like the rest of the city, we live in apartments instead of dark lodgings, we have automobiles, radios and vacuum cleaners—and we buy some of them on the instalment plan."

The guides who conduct parties of visitors through Chinatown get their licenses from the chief of police. One of them was asked whether Lowe's statements were true.

"Well, maybe," he replied, "but the suckers ain't looking for a quiet, peaceful Chinatown. We give 'em what they want. What difference does it make anyhow?"—(UP).

(The end)

N. Y. BANK'S ACT CAUSES YEN TO FALL

Panicky Market Blow To Raising of Ban On Gold Embargo

Special to The Japanese American News

TOKYO, Aug. 10.—The Tokyo foreign exchange market is today in a panicky state, with the Japanese yen falling by two points at one jump after it had experienced a continuous rise for the past two months. The crisis today came upon the heels of the New York Federal Bank's decision yesterday to raise rediscount rate on foreign drafts to six per cent.

Although the action of the Federal Reserve Bank was aimed at discouraging the speculative fever, its influence threaten to temporarily demoralize the money market here and is regarded as a temporary blow to Japan's program for lifting the ban on gold embargo.

OPTIMISTIC

Junnosuke Inouye, Minister of Finance, who is regarded as the financial wizard in the new Liberal Cabinet of Premier Hamaguchi, today expressed extreme optimism concerning the present monetary fluctuation. He contended that the Federal Reserve Bank will eventually be forced to reserve its action. Despite the rising of discount rate on foreign exchange draft, high interest rate on call money in New York will compel idle money in Europe naturally to flow to America where it can be put to productive use. The consequent flooding of the New York market will make the reversal of the Federal Reserve Bank's recent decision inevitable, it was contended by Inouye.

NOT SERIOUS

Inouye further declared that the present situation will not seriously affect the Japanese government's program for lifting the ban on gold shipment shortly. Japan, through stringent economic retrenchment, is paving the way for the yen to reach its normal value. With this affected, the new Cabinet will lift the embargo on the gold and thus bring international commerce for Japan on a normal plane. Japan is the only one of first-class powers that has not yet cancelled this wartime measure.

HAWAII GIRLS ENJOY PARTY

Mr. and Mrs. Tsuda Entertain Guests Friday Night

Mr. and Mrs. Takeshi Tsuda gave a bridge party at their home on Pine street on Friday evening in honor of three Hawaii girls, Miss Dorothea Morita, Miss Bessie Tong, and Miss Elles Kubo.

The guests who enjoyed the evening were the Misses Shizue Haramoto, Ruth Louie, Matsuko Odani, Yoshiko Okahiro, Lois Tanisuye, A. Kuraya, Mrs. Saburo Kido.

Messrs. Dr. Harold J. Jue, Dr. S. Kasamoto, S. Kido, George Komatsu, Ruyzo Maeyama, H. Nakata, Nori Takeuchi, Harold Tsuzaki, and James Heen Wong.

Men In China Gets 'Equal Right' To Procure Alimony

PEIPING, Aug. 19.—(UP)—Chinese husbands will have the right to sue their errant wives for allmony, and will have just as much chance of getting a living allowance as will the wives themselves.

This is the interpretation put upon the new law concerning "equal rights for women," soon to be promulgated, by Wei Tao-Min, acting director of the Judicial Board at Nanking, in an interview quoted by the Kuo-Wein News agency here.

"If we are to have equal rights in China, we will have them absolutely equal," Wei is quoted as saying. "The men will have the same rights as the women, the women the same as the men. Since wives can sue for alimony, there is no reason why husbands should not have the same privilege."

Wei added that the new law will permit the judge to decide alimony on the basis of culpability. If the wife is wrong she pays alimony. If the husband is wrong, he pays.

ORDER NOW!

The Japanese American Weekly

IS OUT

AN ENTIRELY NEW 12 PAGE ISSUE WITH A FOUR PAGE ENGLISH SECTION

The regular subscription rates follow:

Single Copy	$ .15
One Month	.50
Six Months	2.75
One Year	5.00

For subscribers to The Japanese American News a special inducement will be made through the following rates:

Single Copy	$ .15
One Month	.35
Six Months	2.00
One Year	3.50

FILL IN AND MAIL AT ONCE

The Japanese American News
650 Ellis Street
San Francisco, Calif.

Gentlemen:

Please send The Japanese American Weekly for ____ months to

Name _____

Address _____